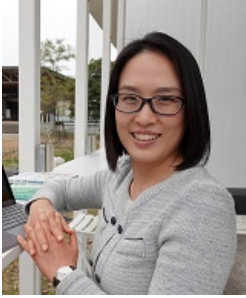




研究テーマ

1 名詞句の意味と解釈に関する日韓対照研究

2 日韓両語の「不完全な文」に関する総合的研究：情報と言語化の関係の解明



金 智賢

きむ じひよん
国際連携機構

多言語多文化教育研究センター

准教授

キーワード

言語学、対照研究、言語教育、韓国語

特許情報・
共同研究・
応用分野など

2022-2024年度、科研基盤研究(C)、発話参与者標示及び空間直示指示と概念化様式の英韓日対照研究（研究分担者）

2021-2023年度、科研基盤研究(B)、日韓両語の「不完全な文」に関する総合的研究：情報と言語化の関係の解明にむけて（研究分担者）

2020-2023年度、科研基盤研究(C)、名詞句の意味と解釈に関する日韓対照研究（研究代表者）

研究概要

言語学の観点から、現代日本語と韓国語の文法における対照研究を行っています。日本語と韓国語は構造が類似していると言われていたますが、有意義な共通点のみならず、看過できない相違点があります。対照研究は、単に言語現象を比べるのではなく、そこに潜んでいる構造的な特徴を探ることで、汎言語的な規則を見出し、それぞれの言語の特徴における精密な記述や人間の認知の探究を目指すものです。教育、辞書、翻訳など応用分野も広く、言語学の欠かせない分野であると言えます。

1 名詞句の意味と解釈に関する日韓対照研究

- ① 本研究は、現代日本語と韓国語の名詞句の特徴を、意味論的・語用論的な対照分析によって解明しようとするものです。
- ② 名詞句は、その内部意味構造ならびにそれが生じる文中における意味機能という二つの観点から考察される必要があります。本研究では、前者として多様な名詞句構造（「名詞/節/数量詞/副詞/φなど+名詞」）を取り上げ、後者として名詞句が単独でまたは述語として用いられる発話文に着目し、日韓両言語の類似点と相違点を総合的かつ体系的に記述することを目的とします。

2 日韓両語の「不完全な文」に関する総合的研究：情報と言語化の関係の解明にむけて

- ① 「不完全な文」はどの言語にも存在し、その出現パターンも場面や文脈で自明な要素が欠けるなど共通する点が多いですが、類似する構造を持つ日本語と韓国語では「不完全な文」の構文上の特徴や出現する状況に違いが見られます。このことは、言語ごとに「自明な要素」が違う可能性や、何を言語化するかという言語化の仕組みが異なる可能性を示します。
- ② 本研究課題では、日韓両言語の言語データを多様な観点から対照分析することにより、「不完全な文」について総合的かつ体系的な説明を与え、両言語の言語化の仕組みを解明することを目指します。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

- ・韓国語教育に関する分野
- ・言語景観（韓国語表記）に関する分野

メッセージ